

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

一般の部



令和七年五月度 入賞句一覧

投句数 五百四十七句

特選

長野 美代子 選

ざつくりと削られし山著莪の花

大垣市

岡田 あや子

この山は赤坂の山のことですね。赤坂の山は半年前とはずいぶん変わつて、さらに最近では形が低くなつてきています。そんな山でも、春になれば著莪の花などが一面に咲きます。よい句ができましたね。

桐の花よくよく見れば吾が家紋

大垣市

村田 通夫

昔の正装と言えば、紋付に羽織袴といったものでした。羽織には家の家紋がついていました。立派でしたね。この方の家紋は桐でした。ふつと思ひ出したのですね。この句を大切にしてくださいね。

顔の泥拭ひ水田の早仕舞

大垣市

臼井 秀子

田植の頃はそろそろ暑くなつたきます。手植えでしょうね。「早仕舞」といえばお年を召した方でしょうか。早仕舞がよくわかります。ご苦労様です。

秀逸

せせらぎに耳をすませば風五月

大垣市

宮脇 和子

垂るるほど風にしたごふ雪柳

大垣市

浅野 翔泉

白雲を跳ね上ぐ尾つぽ鯉のぼり

大垣市

高津 喜久子

玉砂利を鳴らし駆けゆく祭足袋

大垣市

久保田 悟義

海越えて再会果たす親ツバメ

大垣市

平塚 克敏

たんぽぽの綿毛旅立ち風まかせ

大垣市

大角 信子

コントラバスの如き鳴き声牛蛙

岐阜市

廣瀬 あや子

仏の間ほのと香りしさくら餅

大垣市

大角 信華

天井に風船あづけ子は眠る

大垣市

吉田 てるみ

たらい舟追い抜け追い越せ花筏

大垣市

森田 愛珠

入選

鶯の山の竹藪響きくる

愛知県額田郡

平松 京師

廃校の軒借りに来る初燕

大垣市

三輪 実

筍が届き今年も伯母は無事

大垣市

村井 娑婆

麦笛に集まる子らの顔光る

大垣市

永江 美佳

つばくろや雨の匂ひの風を切り

大垣市

多賀 英華

柿若葉颯爽と行く人力車

大垣市

高田 雅章

むせながら生气ごと食む筍飯

本巢市

小泉 裕子

切りたての髪はつ夏の風が撫づ

大垣市

遠藤 加容子

古墳群裾這い上がる草若葉

揖斐郡大野町

横山 道男

舞雲雀揚がりきりたる五重塔

愛知県瀬戸市

宮崎 諭志

藤棚の人去りてより匂い濃し

三重県四日市市

後藤 允孝

燕飛ぶ天守に向かい大回転

大垣市

美濃仙人

飛花落花てふてふの如たはむれり

東京都中央区

清水 阿貴子

薰風や車の窓に犬の顔

大垣市

大橋 真由美

花ちるや城の今昔思ひゐる

長野県下伊那郡

長沼 まさし

選者吟

田植の子ぬるりと足のままならず

美代子



一般の部